



# 駒本の力

駒本小学校(家)

教育活動紹介便り

NO. 32

平成28年10月3日

## 秋季大運動会に向けての駒本の力

校長 田中 克昌

10月8日(土)は、本校の秋季大運動会です。このところ天候が安定せず、2週続けて土曜日が雨となっています。8日には是非とも運動会日和の中、子どもたちに運動会を迎えさせたいと願っています。さて、運動会に向けてどの学年も本当に熱心に練習に取り組んでいます。その子どもたちの素晴らしい駒本の力を少しご紹介したいと思います。

### 1. 応援団の頑張りが素晴らしい

4年生以上の児童で構成されているのが、応援団です。6年生の久喜君が赤、金森君が白の応援団長です。この二人の団長を中心に毎日の朝練習や放課後練習に取り組んでいます。駒本小の応援団の素晴らしいところは、まず全員が立候補で応援団になったことです。そして、運動会を盛り上げようと自分たちからすすんで、活動に取り組んでいるところです。当日の応援団の子どもたちの頑張りをぜひ励ましてください。

### 2. 表現運動での頑張りが

小学校の運動会では、短距離走、団体競技、表現演技の3つが演技・競技の基本となります。その中でも、最も練習時間をかけるのが表現演技です。日常の体育の学習の成果を表現運動という形で演技します。

低学年は、「トライエブリシング」という演技名で、ダンスを披露します。2年生が1年生の子どもたちをリードしながらのダンスは、とてもかわいらしく微笑ましいものです。3年生は、「駒本ソーラン」です。南中ソーランを基に多少のアレンジを加えた踊りを披露します。この踊りは、見た目以上に体力が必要で全身を使って表現します。真剣に練習に取り組む3年生の姿は、本当に素敵です。4年生は本校伝統の一輪車です。日々の練習を積み重ね、日増しに上達していく姿は、保護者や地域の皆さんに自分たちの姿を見てほしいという高い意欲を感じます。5. 6年生は組体操です。練習中には先生方の指導の下、安全に練習するために注意することをお互いに話し合い、組になって子どもたち同士が声を掛け合っています。組体操から生まれる子どもたちの一体感と真剣さは、運動会の花と言ってよいものです。さらに、高学年は鼓笛隊の演奏もあります。朝練習を積み重ね、白山祭り以上の演奏とドリルを披露できるよう、頑張っています。

### 3. 係活動での頑張りが

高学年になると、係活動があります。様々な役割を分担し合いながら、低学年をリードし運動会を盛り上げるために、それぞれの係で努力しています。先日、教職員が校庭の砂掃きをしている時に、係活動が終わった児童が、一緒に砂掃きをしてもいいですか?と自主的に砂掃きに参加してくれていました。この声かけの在り方と自主的な姿を見て、とても嬉しく思いました。

#### 4. 教職員の頑張り

学校行事ですから教職員が努力するのは当たり前なのかもしれませんが、駒本小の教職員は、勤務開始時間よりも早くに出勤し、授業の準備、朝練習に取り組んでいますし、放課後や夜間も遅くまで学校に残って職務にあたっています。駒本小のチームワークの良さは本当に素晴らしく、校庭の砂掃きを行えば、全教職員が一緒に取り組みます。全ては子どもたちのためという「愛と熱と力の駒本」の姿がそこにあると思います。

### 教科の授業公開講座ありがとうございました。

9月24日（土）に行いました、教科の授業公開講座では2校時の田島研究主任による本校の授業スタイルの説明会に80名の保護者の方のご出席を得て実施することができました。ご参加いただいた皆様にお礼申し上げます。

本校は、「愛と熱と力の駒本」を学校の経営理念とし、教育活動としては、「どの子ども伸ばす、駒本の教育」の実現を目指しています。「どの子ども」というのは、本校に在籍している全ての子どもたちです。本校は、ご存じのように特別支援教育学級（むくの木学級）と通級指導学級（いずみ学級）、通常の学級の3種の学級で構成されている学校であり、インクルーシブ教育システムの構築を目指しています。本校ではインクルーシブ教育システムを、障害のある子どもを含む全ての子どもに対して、子ども一人一人の教育的ニーズにあった適切な教育的支援を行う教育、と捉えており広義の考え方をしています。

「伸ばす」というのは、学力（基礎学力、思考力、判断力、表現力、問題解決能力）であり、体力です。もちろん、豊かな心の育成も重要です。そして、「駒本の教育」とは、インクルーシブ教育や特別支援教育の考え方を基盤とした、授業のユニバーサルデザイン化や個別的な配慮によって、どの子ども分かり、学びがいのある教育活動を確立することです。今回はそれらのことを算数の授業スタイルを中心に説明させていただきました。保護者の皆様からいただいた感想をいくつか抜粋して紹介いたします。

「先日は授業公開、どの子ども伸ばす、駒本の教育のお話、大変解りやすく、学校全体で授業の流れや教材などを統一して取り組んでいただいている事がよく分かりました。〇年生の算数の授業にも取り組みがしっかり反映されていました。」

「田島教諭のお話は興味深くその後の公開授業をより理解しやすいものとなりました。算数科の授業スタイル、コース別の違いが『どの子ども伸ばす教育』であると実感しました。すぐにはコース別の違いが分かりませんが、電子黒板を活用して視覚的にフォローを多めにしたコースや子どもたちに考えさせる時間を多めにとっているコースなど、子どもの力に合わせた上で理解度を高める授業が行われていました。」

「電子黒板を活用しての授業、興味深く参観しました。今後さらに電子黒板の利点を生かした活用方法を工夫していただけるようお願いいたします。」

たくさんの感想やご意見を今後の糧にしていまいります。子どもたちに質の高い「駒本ブランド」の教育を常に提供できるよう、日々の研修に励んで参りますので、ご支援いただけますようお願いいたします。

